

# 地域に根ざした気象台の防災業務の強化

**各区市町村の窓口となる職員（あなたの町の予報官）を配置し、**  
平時から「顔の見える関係」を構築することで、**地域防災力の向上に直結する取組を推進します！**

## 【地域防災対応支援チーム】



- 平時から「顔の見える関係」を構築し、気象・気候・地震・津波・火山等に関する 市町村からの問い合わせに“ワンストップ”で対応
- 地域の「我が事」感をもった防災力向上に直結する取組を、気象台を挙げて推進
  - － 地域に密着した日頃からの解説
  - － 防災対応マニュアル等への助言
  - － 実践的な研修・訓練
  - － 気象や地震・津波・火山等の特性・災害リスクを共有
  - － 協議会の枠組での防災対応検討（河川・火山）等

・常に同じ窓口となる気象台職員が対応するため、日頃から相談しやすく、ワンストップでのやり取りが可能に。  
・平時の関係構築や、区市町村個別の特徴を踏まえた実践的な研修や訓練を通じ、緊急時には気象台と連携した円滑な防災対応を行うことが可能に。

平時には **各地域の個々の区市町村等に対し、より積極的かつ責任をもって対応** 緊急時には

・顔を覚えてもらい緊密な関係構築  
・緊急時対応の知見・認識を共有



相乗効果で推進

気象台  
チームで対応!

・顔の見える関係で切迫感が伝わる解説を  
・情報を的確に「理解・活用」した防災対応へ



\*JETT（気象庁防災対応支援チーム）

# あなたの町の予報官テレビ

区市町村防災担当者



23区

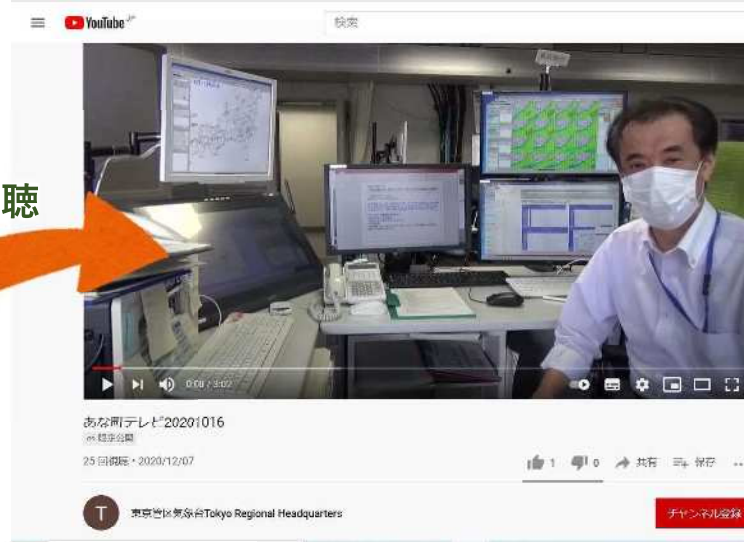


多摩



島嶼

視聴



視聴により  
生じた疑問

お問い合わせ専用  
メールアドレス

地域支援チームからメールで回答

タイトル : あなたの町の予報官テレビ (仮)

時間設定 : 平日11時頃、1~3分程度のLIVE解説  
(+ 質疑)  
(当面は別途メールによる仕組みを構築)

対象 : 東京都内の区市町村

目的 : 区市町村の防災担当者がお持ちの  
日々の疑問を、**当日の予報官**が解説

・防災気象情報に関する市区町村が抱える要望や  
不満、ニーズを把握

・日々の解説とは別枠で、気象情報を発表した際の  
**即時的な振り返り**を実施



清瀬



予報現業

※出水期以外は、金曜日に週末から翌週  
の天候の流れを解説。降雪等、悪天が予  
想される際、スポットで開催。

# 新しい気象庁HPにて「気象台からのコメント」を公表

- ▶ 令和3年2月中旬に気象庁ホームページの更新を予定しており、先行して防災用ページを1月25日から先行して運用を開始します。
- ▶ <https://www.jma.go.jp/bosai/>
- ▶ 新しいホームページではこれまで一部のユーザ向けに行っていた「予報官コメント」を、「気象台からのコメント」として広く一般公開する予定です。
- ▶ 新しい気象庁HPでは、必要な防災気象情報を選択できるほか、タブレット端末等でもご利用いただけるよう改善しております。

## 「気象台からのコメント」のイメージ

**改善**

**解説内容の例**

- 土砂災害警戒情報・警戒・注意報を発表する見込みがあるのかないのか、いつ解除するのか。
- 警戒級の可能性を[中]としている理由。
- 現象のピークなどの気象状況。
- 今日注目すべきコンテンツ。

表示する枠の大きさも自由にカスタマイズが可能に。

# 記録的短時間大雨情報の改善

別紙2-3

【令和3年出水期前を目途に実施】

- ▶ 記録的短時間大雨情報は、大雨警報発表中に、現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることを伝えることで、どこで災害発生の危険度が高まっているかを「危険度分布」で確認し、自主的な安全確保の判断を促すもの。
- ▶ 記録的短時間大雨情報を、当該市町村が警戒レベル4相当の状況となっている場合にのみ発表することで、災害発生の危険度が急激に上昇し、速やかな安全確保が必要な状況となっていることを適切に伝えられるように改善。

これまで

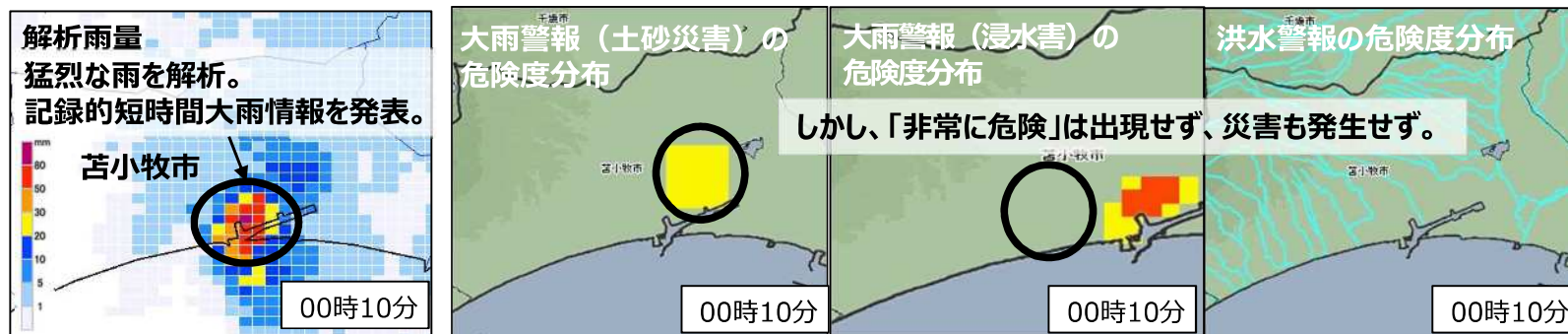
大雨警報を発表中に、記録的短時間大雨情報の基準に到達したときに発表。

災害発生と結びつきが強い情報に改善

改善後

危険度分布で「非常に危険」(警戒レベル4相当)以上が出現し、記録的短時間大雨情報の基準に到達したときにのみ発表する。

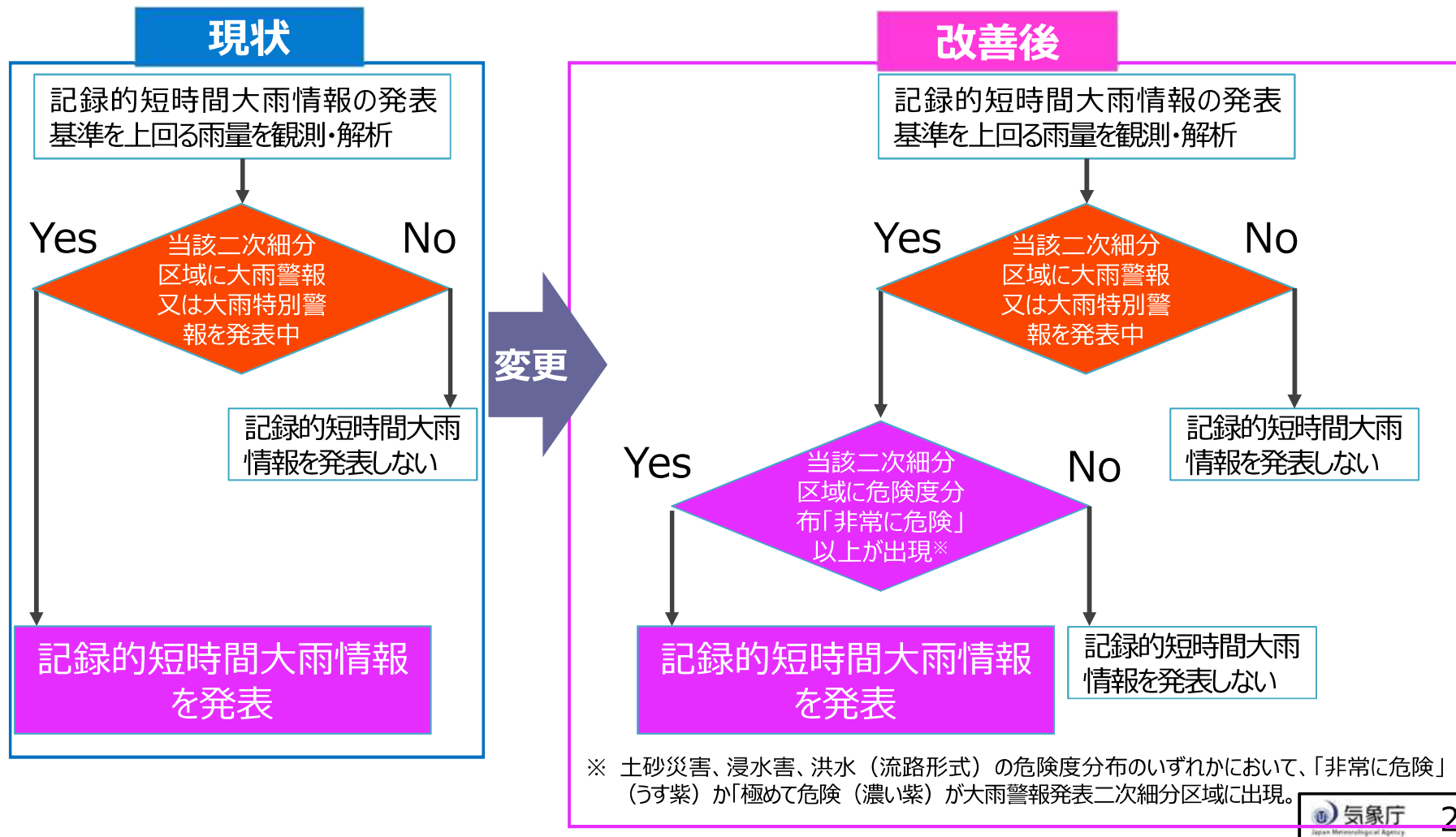
令和元年11月12日の胆振地方の例



「危険度分布」の危険度を発表条件に加えることで、災害発生の危険度が急激に上昇し、速やかな安全確保が必要な状況となっていることが伝わるように改善。

# 記録的短時間大雨情報の発表条件の変更

- 大雨警報が発表され、土砂災害・浸水害・洪水のいずれかの危険度分布で「非常に危険」（うす紫）以上が出現している二次細分区域について記録的短時間大雨情報を発表するよう変更。



# 「危険度分布」の通知サービスの細分化について

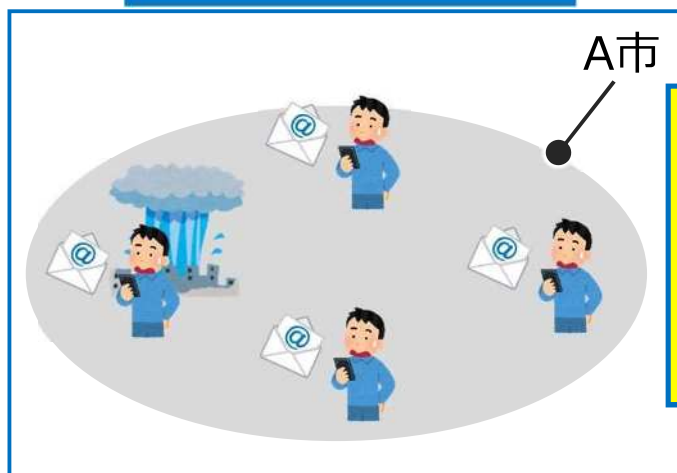
別紙2-4

- 住民の自主的な避難の判断によりつながるよう、「危険度分布」の通知サービスについて、政令指定都市については、よりきめ細かい区単位でも通知を開始。（令和3年度出水期前を目途に実施）

## 改善の方向性（案）

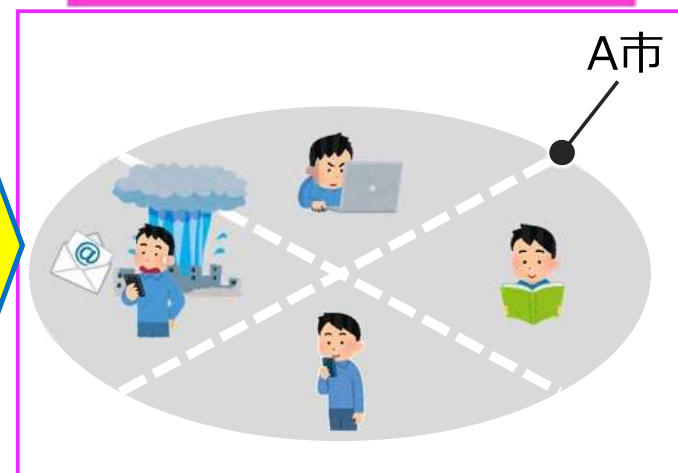
- 危険度通知サービスの通知単位の細分化も含めた検討。 **今回の改善**
  - ✓ 政令指定都市については、よりきめ細かい区単位でも通知を開始。
  - ✓ 併せて、1kmメッシュの「危険度分布」そのものを活用した、きめ細かな通知についても促進。
  - ✓ 市町村における避難勧告の発令単位の検討に気象台も積極的に協力し、準備が整った地域から発令単位等に合わせて市町村をいくつかに分けた通知を開始。（中長期的に検討を進める）

### 現状



市町村の避難勧告の  
発令単位等に合わせて  
市町村をいくつかに分  
細分した通知の提供に  
向けて検討を進める

### 改善後のイメージ（案）



# 「危険度分布」の通知サービスの区毎の通知の改善イメージ

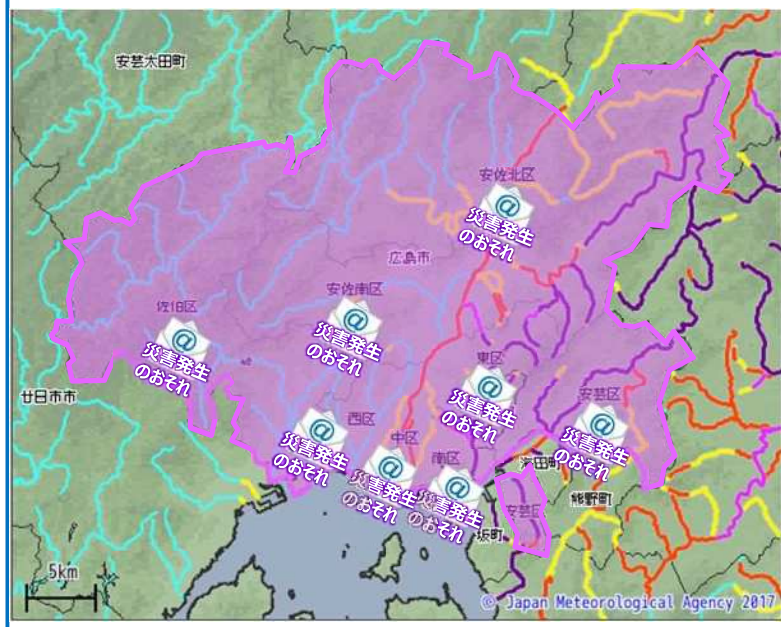
【令和3年出水期前を目途に実施】

- 政令指定都市の通知を区毎に行うことにより、危険度が低い区における通知を抑止し、真に避難が必要とされる状況となっている住民の自主的な避難の判断を促進することが可能に。

洪水警報の危険度分布における「極めて危険」（濃い紫）の通知の改善例 ～広島市の例～

## 現状

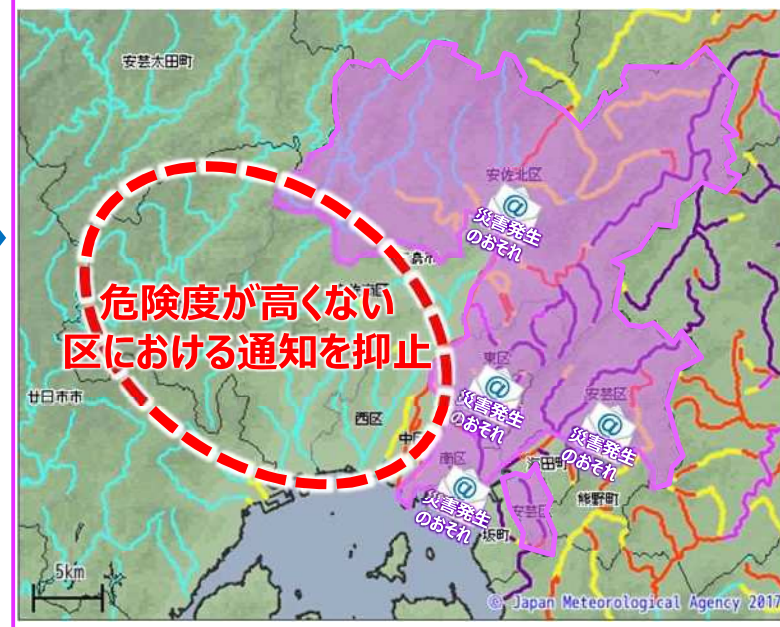
- ◆ 市内全域に通知（全区に通知）



改善

## 改善後

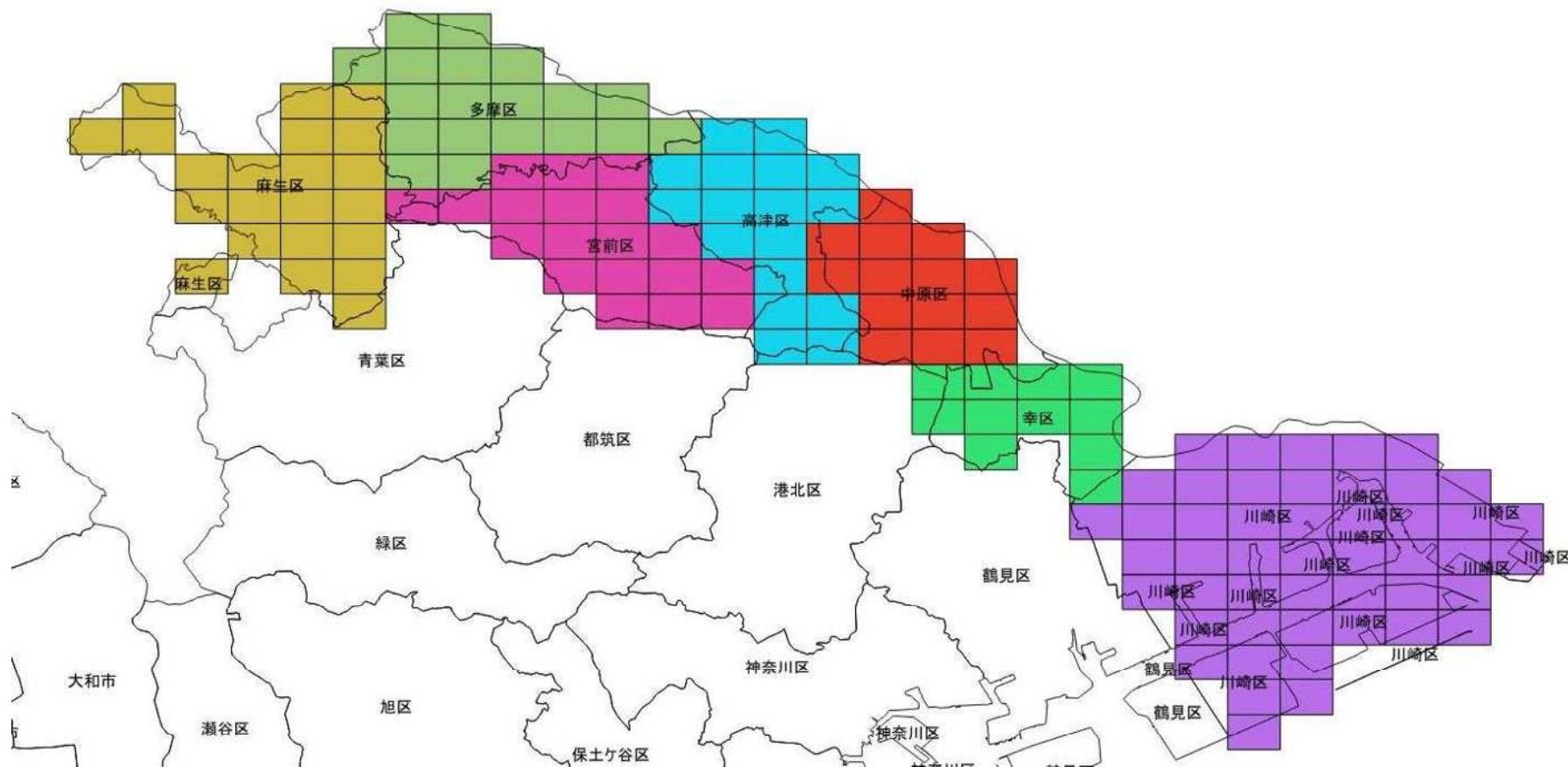
- ◆ 危険度が高まった区にのみ通知



: アプリ等により通知される区

# 危険度分布の通知サービスで用いる格子 ～川崎市～

➤ これまで市のいずれかの場所で危険度が高まったときに「非常に危険」や「極めて危険」等の通知をしていたが、区毎に通知されるように改善。



※ 記録的短時間大雨情報と同様の分け方とする。



## (参考)「危険度分布」の通知サービスについて

- 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立ていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※1を開始しました。
- この通知を受領した際、お住いの市町村内のどこで危険度が高まっているかを「危険度分布」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※2・3に活用いただけます。



※1 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。  
([http://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/ame\\_push.html](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/ame_push.html))。

※2 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※3 避難にあたっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。

# 警戒レベルと対応した高潮警報等に改善

【令和3年度出水期前を目途に改善】

▶ 自治体や住民が高潮警報のみで避難が必要とされる警戒レベル4に相当しているかを判断できるよう、暴風警報発表中の「高潮警報に切り替える可能性が高い注意報」は高潮警報として発表するよう改善。

- ✓ 高潮災害からの避難は、潮位が上昇する前に暴風で避難できなくなるため、高潮警報のみでは判断できず、暴風警報も考慮した判断が必要とされている。
- ✓ 高潮警報のみで、避難勧告（警戒レベル4）を発令する目安に到達しているかどうか判断できるよう、暴風警報発表中の「高潮警報に切り替える注意報」は高潮警報として発表する。

## 平成30年台風第21号の例

大阪市		今後の推移 (■警報級 □注意報級)									
発表中の警報・注意報等の種別		4日								5日	
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3	5
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)	0	0	40	70	70	40				
	(浸水害)										
	(土砂災害)										
暴風	風向風速 (矢印・メートル)	陸上	12	14	20	35	35	18	15	12	12
		海上	15	18	25	40	40	23	20	15	15
波浪	波高 (メートル)		1.5	2	3	4	4	2.5	2.5	1.5	1.5
		高潮	0.4	0.4	0.8	2.8	2.8	2.2	1.5		

高潮警報のみで避難勧告を発令する目安に到達しているか判断できるよう、暴風警報発表中の「高潮警報に切り替える可能性が高い注意報」は、高潮警報（警戒レベル4相当）として発表する。



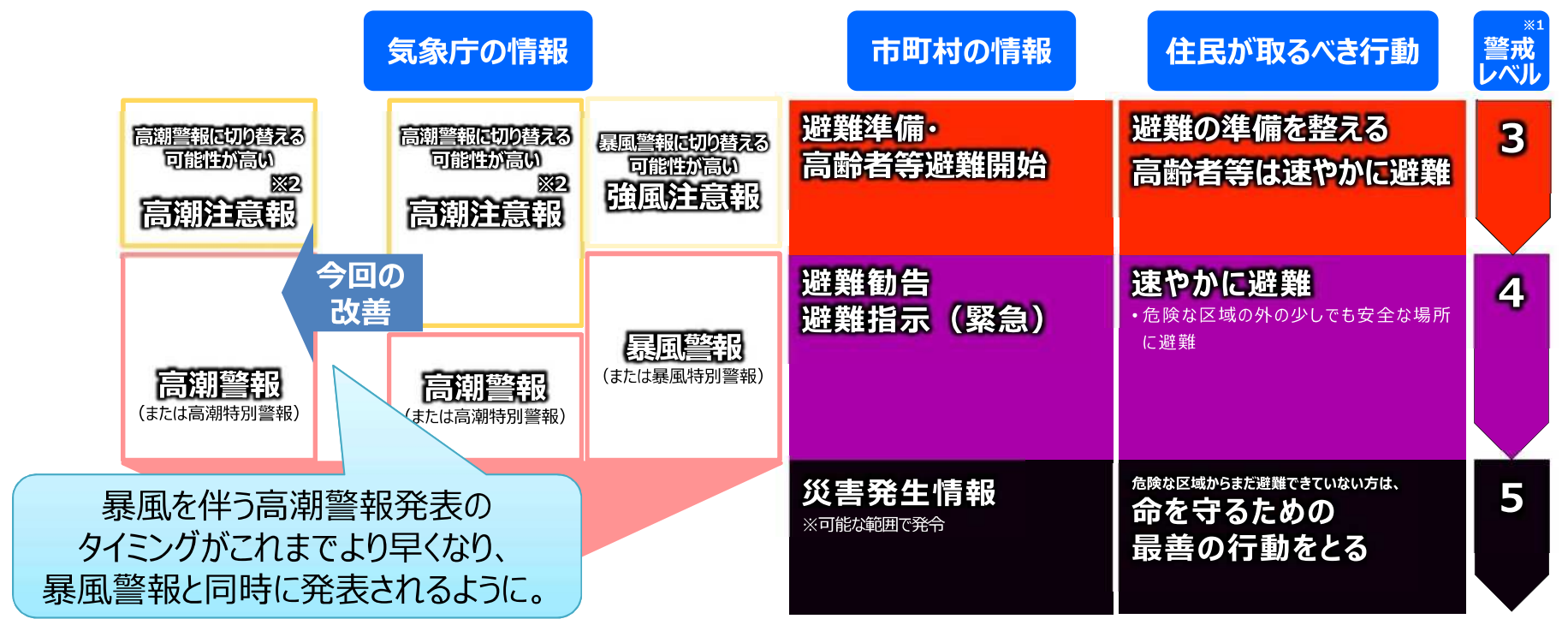
大阪市		今後の推移 (■警報級 □注意報級)									
発表中の警報・注意報等の種別		4日								5日	
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3	5
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)	0	0	40	70	70	40				
	(浸水害)										
	(土砂災害)										
暴風	風向風速 (矢印・メートル)	陸上	12	14	20	35	35	18	15	12	12
		海上	15	18	25	40	40	23	20	15	15
波浪	波高 (メートル)		1.5	2	3	4	4	2.5	2.5	1.5	1.5
		高潮	0.4	0.4	0.8	2.8	2.8	2.2	1.5		

高潮からの避難が必要な状況であることがより明確に伝わるようになり、より安全なタイミングで住民が避難することが可能に。

# 高潮警報がこれまでより早いタイミングで発表されるようになります

➤ 暴風警報発表中の「高潮警報に切り替える注意報」が高潮警報として発表されることにより、これまでより早いタイミングで高潮警報が発表されるようになります。

- ✓ 警報のリードタイム（猶予時間）は、防災関係機関や住民に伝わり安全確保行動がとられるまでにかかる時間を考慮して設けている。
- ✓ これまで高潮警報は、重大な災害が発生するような警報級の高潮が概ね3～6時間先に予想されるときに発表していた。
- ✓ 潮位が上昇する前の暴風も考慮する必要があるため、暴風警報と同時に発表されるようにすることで高潮警報のリードタイムが長くなる。



※1 警戒レベルについては、内閣府ホームページ（[http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30\\_hinankankoku\\_guideline/index.html](http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline/index.html)）をご覧ください。  
 ※2 夜間～翌日早朝までに高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告（警戒レベル4）に相当します。

## (参考) 現状の「ガイドライン」における台風等接近時の避難勧告等の発令基準

- ▶ 「避難勧告等に関するガイドライン」(内閣府) では、高潮が予想される状況下においては、台風等の接近に伴い風雨が強まり、立退き避難が困難になる場合が多いため、暴風で避難できなくなる前に避難勧告の発令を検討することとされているが、洪水や土砂災害についても台風接近時には早めの避難勧告等の判断を行う必要がある旨が記述されている。

### 発令基準設定の考え方 (洪水、土砂災害、高潮共通)

- 台風等の接近に伴い大雨や暴風により避難行動が困難になるおそれが予見される場合や、浸水や崖崩れ等に伴い避難経路となる道路が通行止めになるおそれが予見される場合等には、発令対象区域の社会経済活動等の特徴も踏まえつつ、早めの判断を行う必要がある。

### 洪水

#### 洪水予報河川、水位周知河川、その他河川等における避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告の発令基準の設定例

- 避難準備・高齢者等避難開始又は避難勧告の発令が必要となるような強い降雨を伴う台風等が、夜間から明け方に接近・通過することが予想される場合

### 土砂災害

- 夜間や暴風、豪雨等により外出が危険な状況であったとしても、「近隣の安全な場所」への避難や「屋内安全確保」といった緊急的な避難行動によって、少しでも危険性の低い場所に身を置くことができるため、躊躇なく避難勧告等を発令することを基本とする。

## 2. 台風が接近してきた際の対応

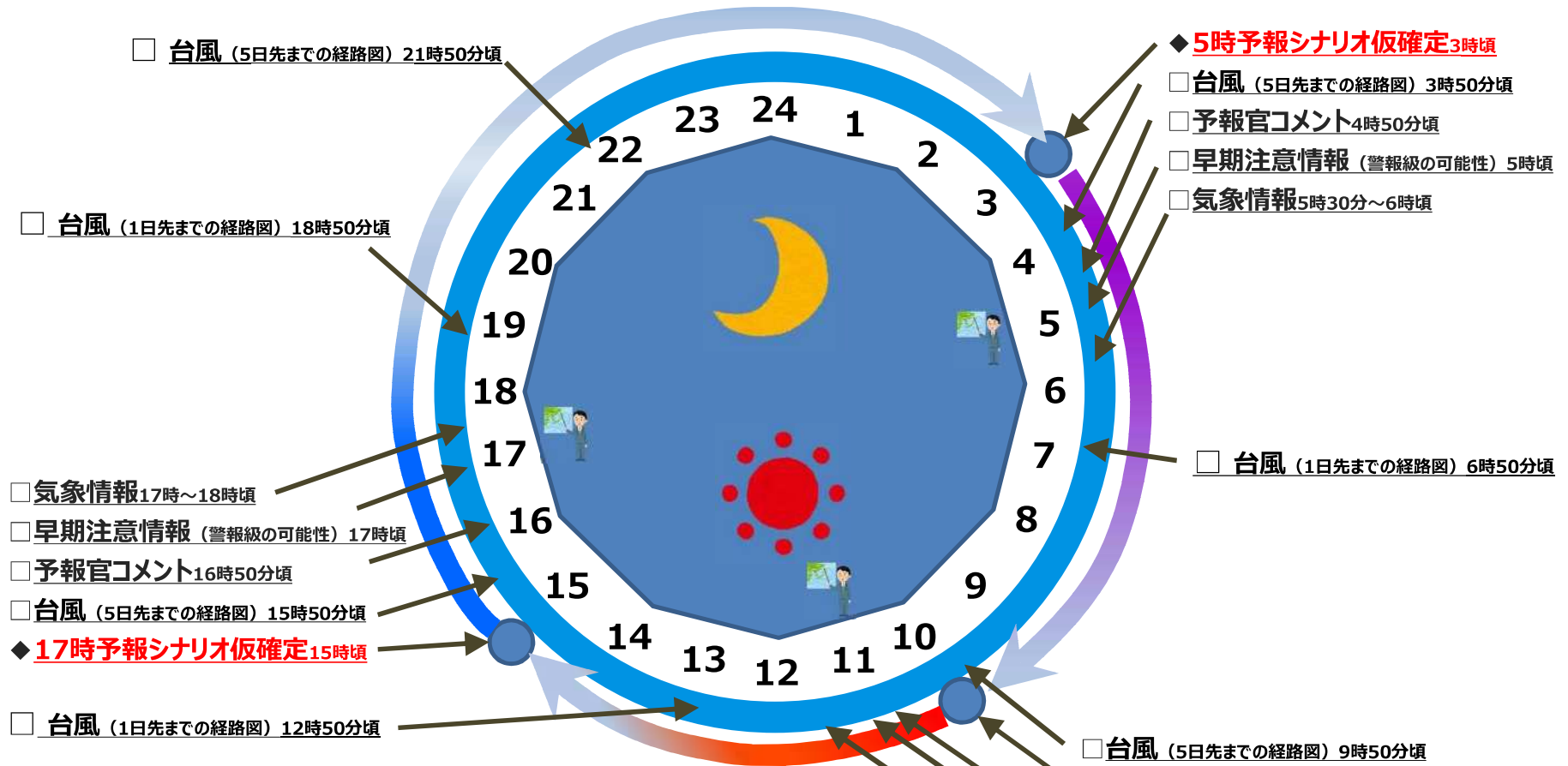
### (1) 暴風等を踏まえた避難情報の早期発令について

台風による暴風時の避難は危険を伴うことを踏まえ、「避難勧告等に関するガイドライン②（平成31年3月改訂）」の記載を参考に、洪水・土砂災害・高潮等の発生に備え、気象庁から暴風警報が発表され次第可能な限り速やかに警戒レベル4 避難勧告等を発令することを検討いただきますようお願いいたします。

なお、検討にあたり、暴風警報の発表後3時間後には暴風となるおそれがあることや、住民の避難に要する時間に留意いただきますようお願いいたします。また、必要に応じ貴市町村における避難勧告等の発令基準の見直し等を検討いただきますようお願いいたします。

「令和2年台風第10号を踏まえた今後の台風における避難の円滑化について」（令和2年9月23日、府政防第1522号）より抜粋。

# 防災気象情報の更新タイミング



☁のマークは定時の天気予報を表します。  
 天気予報のシナリオは予報発表の1~2時間前  
 (◆マークの3/10/15時頃)に大筋が固まります。  
 このシナリオは突発的な現象が無い限り次の予報時刻まで、  
 大きく変更する事はありません。